

ほげい船 平成 25 年 4 月

新年度を迎えて

今年も新しい仲間を迎え平成 25 年度がスタートしました。この季節は人事異動があり、一緒に仕事をしてきたメンバーが去り寂しい時期ではありますが、逆に新しいメンバーに入れ替わり病院に活気がでてくる時期でもあります。今年度は転任の職員を含め 71 名の新しいメンバーを迎えました。高知病院の大きな目標は「地域に信頼される病院」になることです。地域に信頼される病院とは、地域の住民の人々、患者さん、地域の医療者の皆さんに信頼される病院であり、新しい職員を加えたメンバーで今まで以上に信頼を得ることができる病院にしていきたいと思っております。信頼される病院になるためには、良質で安全な医療の提供は当然のことですが、接遇、丁寧な説明など患者さんへの適切な対応も重要です。また、診断治療を向上さすには新しい機器の導入も大切で、このためには、経営基盤を確立する必要があります。昨年度は職員の皆さんの活躍により機構の全国ブロック内でも成績が良いとされている中国四国ブロック管内において上位にランクされる成績を残すことができました。職員の皆さん、ご苦勞様でした。今年度も皆さんと一緒に昨年度同様優秀な成績をあげたいと思っておりますので宜しくお願いします。しかし、病院を取りまく環境は大きく変化してきております。我が国は超高齢化社会を迎えました。特に高知県は全国に先駆けて高齢化が進んでおり高知病院が対象とする患者さんも高齢者の割合が多くなってきております。一方、医療提供体制の再整備が進められており、機能分化による病院の類型化、急性期医療のみならず、高齢化に伴う慢性期医療の重要性が指摘されています。各医療機関はこの様な医療環境の中で診療の質と経営の質を向上させるよう努めています。私達の病院も他の医療機関と同じように、このような環境の変化に対応しつつ、良質で安全な医療を提供していかなければなりません。高知病院も国立時代には国からの補助がありましたが、独立行政法人になってからは、独立採算性となり、その上国時代の負債の返済も義務付けられており、厳しい経営状態は今後も継続していきます。病院機能を充実させるには医療資源への投資が重要ですが、それには病院経営の質を上げていかなければなりません。旧態依然とした病院経営では成り立たず、民間の工夫を取り入れた経営が必要となります。ただ、経営の改善だけではなく、私達の病院は独立行政法人になったとはいえ、国の医療を支える病院群です。結核や重症心身障害児（者）の医療などの国の政策に沿った医療を支えていかなければなりませんし、それが機構病院の使命とも考えています。一般医療から政策医療まで幅広く国民に医療を提供できる病院としてこれからも発展させていきたいと思っております。病院機能を向上させるため、今年度は医療機器の整備に特に投資をしていく予定です。放射線治療装置の更新の時期ですので、高度の機能を有する機種を選定し、現在導入途中で夏には診療に参加し、高知県の医療に貢献できるものと思っております。放射線治療装置の他にも、各診療科から要望された機器もできるだけ導入したいと考えています。高知病院の今年度の方向性について医療の面から述べましたが、もう一つの大きな目標は高知病院が職員にとって働きがいのある病院、勤

務してよかったと思える病院になることです。医療はボランティアの部分も多くあり、病院での仕事は忙しいと思いますが、職員一人一人が目標を持って充実した生活を送り高知病院がますます活性化しすばらしい病院になることを願っております。